

彙 報

研究活動等 (2011 年 1 月～2011 年 12 月)

総合政策学科

黒羽雅子

その他

1. 雑文等

- (1) 単著「資料解題：『若尾地所部決算報告書』分析」共著（研究代表）「山梨県産業金融史」地域研究交流センター共同研究報告書 2010 年 3 月、pp.23-28.
- (2) 共著「5. 演習授業におけるゼミ活動」地域研究交流センター 2010 年度研究報告書『地域資源を活かしたビジネス展開の可能性について』2011 年 3 月、pp.29-34.
- (3) 単著 書評「鹿児島地域経済研究所編『130 年のあゆみ』鹿児島銀行(平成 21 年 11 月刊)」地方金融史研究会『地方金融史研究』第 42 号、2011 年 5 月、pp.42-46.
- (4) 単著「コラム①財閥の形成：岩崎弥太郎・弥之助兄弟（三菱）」
「コラム④流通革命の進展：鈴木敏文（セブン-イレブン・ジャパン）」
宇田川勝・生島淳編『企業家に学ぶ日本経営史』有斐閣、2011 年、pp.27-28&.274-275 所収.

2. 講演等

- ① 単「財閥と銀行業②：松本重太郎／岩下清周（大阪財界と銀行業）」法政大学イノベーション・マネジメント研究センター公開講座「企業家でたどる日本の金融事業史」法政大学エクステンション・カレッジ特別セミナー、2011 年 11 月 19 日。

3. 社会活動

- (1) 山梨県教育委員会「平成 23 年度やまなし若者中心街活性化コンソーシアム推進委員会ア

ドバイザー」(平成 23 年 8 月～平成 24 年 3 月)

- (2) 朝日通り 8 社コンソーシアム (ASH8) メンバー (平成 22 年度 9 月～現在)

熊谷隆一

1. 報告書(編著)

- (1) 「よつびし総研パンフレット 2010-2011」(山梨県立大学地域研究交流センター・地域研究プロジェクト、3 月 20 日発行)
- (2) 「別冊ビシランガイド」(2010 年度文部科学省「大学教育学生支援推進事業」、3 月 20 日発行)

2. 講演(単独)

- (1) 高校出前講座・テーマ「昭和町の自治体財政分析について」(2 月 3 日、甲府昭和高校)
- (2) 甲州市行政改革研修会・テーマ「行政改革セカンドステージに向けてーあるべき自治体職員姿」(2 月 24 日、甲州市市役所 3 階会議室)
- (3) 甲府市職員組合自治研集会・テーマ「自治研活動の再認識ー今求められる 21 世型の自治体職員」(3 月 3 日、ホテル談露館)

3. その他

- (1) 社会的活動(アドバイザー)
よつびし総研主催「ガチンコジウム V 夢で繋ごう！甲府中心街の未来」アドバイザー(2 月 18 日、桜座)
- (2) 社会的活動(アドバイザー)
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団幹事(2007 年 4 月 14 日～、継続)
山梨県立大学と「四菱まちづくり総合研究室」との「山梨県立大学元気な中心市街地賑わい創造事業」業務委託契約(2010 年 8 月 2 日～、継続)
- (3) 社会的活動(アドバイザー)

「甲府中心街歩行量調査」(「四菱まちづくり総合研究室」調査事業、2011年11月25日～27日)

- (4) 社会的活動(委員会委員)
「甲州市行政改革推進委員会」会長(2010年7月～、継続)
- (5) 社会的活動(研究会委員)
「甲府市自治基本条例推進研究会」会長(2010年8月～2011年3月)
- (6) 社会的活動(委員会委員)
山梨県産業労働部指定管理者選定委員会委員(2011年5月～9月)
- (7) 社会的活動(学会理事)
富士学会理事(2009年4月1日～、継続)
- (8) 社会的活動(研究員)
社)神奈川県地方自治研究センター特別研究員(2005年4月～、継続)
- (9) 識者談話
「岡島改装 甲府中心街集客は…」山梨日日新聞(2011年9月26日)

澁谷彰久

1. 論文

- (1) 単著(2011年4月)「任意後見制度と信託」『信託法制の展望』新井 誠・神田秀樹・木南 敦〔編〕日本評論社(397-408頁 総563頁)

2. 研究助成授与・その他

- (1) 単独(2011年4月)日本学術振興会科学研究費 基盤研究C(一般)採択(研究代表)テーマ:「高齢者財産管理における地域連携モデルの研究」(継続)
- (2) 共同(2011年11～12月)平成23年度県民コミュニティーカレッジ地域ベース講座「東日本大震災後の社会と日本を考える」コーディネーター担当
- (3) 単独(2011年11月18日)台湾法務省において「日本の成年後見制度-地域における現状と課題-」講演
- (3) 単独(2010年11月)オーストラリア ニー

ダーエースタライヒ州成年後見協会年報
Zeitung des NÖ Landesvereins für
Sachwalterschaft und Bewohnervertretung
「日本の成年後見制度について(das japanische Sachwalterrecht lese)」掲載

堤 マサエ

1. 学術雑誌(解題, 書評)

- (1) 単著(平成23(2011)年4月)「今までのARSA大会と今後」村落社会研究ジャーナルNo34第17巻2号, 日本村落研究学会編, 発行. 社団法人 農山漁村文化協会発売 .pp.30-32.
- (2) 単著(平成23(2011)年10月), 書評「家の存続戦略と婚姻」村落社会研究ジャーナルNo35第18巻1号, 日本村落研究学会編, 発行. 社団法人 農山漁村文化協会発売 .pp.43-45.

2. 講演 他

講演「転換期にある家族のあり方を考える」2011年7月7日
「少子化時代の子育て」2011年7月14日
甲府市 北東公民館 甲府市教育委員会

安達義通

1. 論文

- (1) 単著(論文)(2011年3月) 'An Examination of the SECI Model in Nonaka's Theory in terms of the TEAM Linguistic Framework'

2. 報告書

- (1) 編集責任者(2011年6月)「VISION NO.1 ～山梨県立大学から地域振興を考える～」
- (2) 共著(2011年3月)「地域資源を活かしたビジネス展開の可能性について - 甲斐絹の伝承と発信のためのプログラム開発」(山梨県立大学地域研究交流センター)

3. その他

- (1) やまなしコミュニティビジネス推進協議会委員(2011年6月～)
- (2) やまなしソーシャルビジネススクール運営

委員 (2011年10月～)

- (3) 南アルプス市芦安地区まちづくりアドバイザー (2011年)

大西 康雄

1. 教科書

- (1) 共著『考えるための情報処理入門』第6版、DTP出版、2011年4月

2. 研究助成

- (1) 研究分担者 日本学術振興会科学研究費補助金 (基盤研究C 研究課題番号: 22590581 研究代表者: 近藤 尚己) 「ソーシャル・キャピタルと高齢者の健康寿命: ネットワーク分析を応用した縦断調査」2010-11年度

二宮 浩輔

1. 論文

- (1) 『ODAの環境社会配慮に見る制度変化と新しいガバナンスの展開』、「経済政策ジャーナル」第8巻第1号、2011年1月 pp.56-79
- (2) 『小水力発電の立地と持続可能な開発ー山梨県北杜市の取り組みを事例としてー』、「山梨県立大学国際政策学部紀要」第6号、2011年3月 pp.119-128

2. 学会報告等

- (1) 日本マクロエンジニアリング学会循環型社会研究会『ODAにおけるPPPと環境社会配慮』日本マクロエンジニアリング学会、2011年11月12日
- (2) 大学コンソーシアムやまなし 県民コミュニティカレッジ『東日本大震災に見るエネルギーシフトの可能性～地域経済論的視点からの考察～』2011年12月3日

3. その他

- (1) JICA (国際協力機構) 環境社会配慮助言委員会委員

箕浦 一哉

1. 執筆

- (1) 単独発表 (2011年11月) 「景観と環境社会学」『環境社会学研究』17, 180 - 190.

2. 国内学会発表

- (1) 共同発表 (2011年1月) 「山梨県富士吉田市における織物産業音と生活文化」日本サウンドスケープ協会 2010年度研究発表会, 青山学院アスタジオ (東京都渋谷区).

- (2) 単独発表 (2011年3月) 「地域コミュニティの観点からの音環境マネジメント」日本音響学会 2011年春季研究発表会 (招待講演), 早稲田大学 (東京都新宿区).

3. 講演等

- (1) シンポジウムコーディネータ (2011年2月) 「エコスタジアムフォーラム in 甲府」, 主催: 広がれ! 小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会, 於 山梨県立文学館 (甲府市).

- (2) シンポジウムコーディネータ (2011年2月) 「エコソーシャルアートとエコノミーとの融合に向かって経済の質の変化を考える」, 主催: エコアートネットワーク山梨, 於 山梨県立美術館 (甲府市).

- (3) ワークショップコーディネータ (2011年5月) 「フットパスと音風景: 山梨県・勝沼地区を歩く」, 主催: 日本サウンドスケープ協会, 於 甲州市勝沼地区.

- (4) セミナー講師 (2011年9月) 「Intensive method of study to understand local soundscape」, 主催: INCAS3, 於 INCAS3 (オランダ, アッセン).

森田 玉雪

1. 論文

- (1) 森田玉雪、馬奈木俊介 (2011) 「自治体における教育成果の要因分析」、『山梨国際研究: 山梨県立大学国際政策学部紀要』、第6巻、pp.129-140。

2. 翻訳

- (1) 森田玉雪訳 (2011) ポール・サミュエルソン、佐藤隆三著「貨幣を含む一般化された需要理論における可積分・定符号条件の検証の不可能性」、根岸隆、三野和雄編著『市場・動学・経済システム: 佐藤隆三教授記念論文集』第6章、pp.71-87、日

本評論社。原著：Samuelson, Paul A. and Ryuzo Sato, "Unattainability of Integrability and Definiteness Conditions in the General Case of Demand for Money and Goods," *American Economic Review*, 74(4), pp.588-604.

3. 学会活動

- (1) 討論者。行本雅、村上佳世、丸山達也「消費者政策と資源管理問題」、日本経済学会秋季大会、2011年10月29日、筑波大学。

4. 講演

- (1) 「魚を守る取り組みと消費者のかかわり」山梨県立大学地域研究交流センター 2011 春期総合講座、2011年6月4日、山梨県立大学飯田キャンパス。

5. 研究助成

- (1) 研究代表者。日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、2009～2012年度。テーマ：「世界的な資源の囲い込みが進展する中での戦略的な資源政策」

6. その他

- (1) 国際基督教大学 教養学部 非常勤講師 (ミクロ経済学原論)
- (2) 政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師 (教育政策分析演習 I、特定課題研究)
- (3) 独立行政法人経済産業研究所「産業政策検討会」委員 (2010年9月～2011年5月)
- (4) 独立行政法人経済産業研究所「大震災後の環境・エネルギー・資源戦略に関わる経済分析」委員 (2011年6月～現在)
- (5) 査読 (雑誌) 『国際漁業研究』国際漁業学会
- (6) 査読 (論文集) (財)地球環境戦略研究機関出版

国際コミュニケーション学科

二戸麻砂彦

1. 学術論文

- (1) 単著「節用文字の反切」(山梨県立大学国際政策学部紀要第6号pp.01-17、2011年03月)

前澤哲爾

1. 書籍・雑誌・報告書

- (1) 富山国際大学「観光政策論」報告書 p70～80 「フィルムツーリズムと外国人誘客」
 (2) 『『根っこ力』が社会を変える』(「NPO 法人一新塾編、ぎょうせい、5月9日発行」
 「前澤哲爾氏の市民の知恵 5年ごとの脱皮人生で道を拓く」 p80～87

2. 新聞原稿

- (1) 山梨日日新聞「展望台」(日曜日経済面)に原稿連載
 2月6日「大学とやまなし映画祭」
 3月13日『『サービス・ラーニング』で地域再生?』
 4月17日「自粛すること、しないこと」
 5月22日「山梨はフットパス先進県」
 6月26日『『ハイビジョン時代の到来』だ!』
 7月31日「秋から始まる『授業開放講座』」
 9月4日「個人パーティ開催の勧め」
 10月9日「谷川俊太郎さんと写真映画」
 11月13日「やまなし映画祭が目指すもの」
 12月18日『『きょうを守る』は何を映し出したか』

(2) 記事掲載

- 2月16日山梨日日新聞「県立大の学生8人『やまなし映画祭』事務局に参加」
 2月23日山梨日日新聞「準備進む『やまなし映画祭』アイデア企画次々学生スタッフ奮闘」
 2月25日山梨新報「この人 映画による脳活性化実験 認知症予防に期待」
 3月4日山梨日日新聞「生まれ!!シネマファン 18日からやまなし映画祭」
 4月22日山梨新報「不安解消 体操、映画、

読書を～ポジティブ転換できる映画」

5月13日山梨日日新聞「やまなし映画祭をパワーアップ 企画チーム『夢人』発足へ」

6月30日毎日新聞 山梨版「やまなし映画祭 11月18日～20日」

7月1日山梨日日新聞「ツイッターナウ 情報の即時性が魅力」

7月13日毎日新聞 山梨版 岩手版「広く観客呼び、まちを活性化 前澤哲爾さん」

12月16日山梨日日新聞「やまなし映画祭 検討課題を協議」

3. 地域プロジェクトの実施

- (1) 「やまなし・ディスカバラー・プロジェクト」の企画・実施

22年度第3回 FW 2月11日～13日 北杜市調査。これで27市町村を調査終了。

3月19日 YDP総括発表会(地震のため中止)

- (2) 「観光講座」プロデュース

2010年度

第3回 2月19日 株式会社桔梗屋グループ オーナー 中丸眞治氏
 山梨にこだわり続け、どうやって日本を代表するおみやげにできたのか?

第4回 2月26日 JR東日本(株) 地域活性化部門 部長 鎌田由美子氏
 『エキナカ』をヒットさせ、今度は地域活性化ビジネスで何をするのか?

2011年度

第1回 6月11日「ワインツーリズム」笹本貴之(ソフトツーリズム株式会社社長)
 06年、「ワインツーリズム山梨」を事業化して地域づくりに本格着手。

第2回 6月18日「フィルムツーリズム」前澤哲爾(元全国FC連絡協議会専務理事)
 00年、日本にフィルムコミッションを導入し、01年全国組織を立ち上げる。

第3回 7月2日「グリーンツーリズム」曾根原久司(NPO えがおつなげて代表理事)
 01年、農林業をしながら"村・人・時代づくり"をコンセプトにNPOを設立。

- 第4回7月9日「フットパスツーリズム」山本育夫 (NPO つなぐ理事長)
03年、NPO 設立し、各種ツアーづくりと、ガイドブックづくりを行う。
- (3) 「やまなし映画祭」(22年度・23年度) 企画・運営・事務局活動
「第6回映画祭」は3月18日～20日、26日実施予定だったが、地震のため中止。
「23年度実行委員会」の開催
6月21日発足。第2回7月19日、第3回8月24日、第4回12月15日
「やまなし映画夢人」発足。市民20名と企画立案を中心に定例会議を開催。
5月16日、6月20日、7月11日、8月9日、10月5日、12月19日
「映画祭プロモーション」の実施
10月8日(甲府駅北口)、11月12日(オリオンスクエア)
「第7回やまなし映画祭」開催
10月23日、11月19日、20日(岡島ローヤル会館)
- (4) 「外国語放送プロジェクト」の企画・実施
1月～3月 ポルトガル語・中国語・韓国語・スペイン語での番組放送。
4月からFM甲府で制作することとし、大学から離れた。
- (5) 「YPU Summits Winter」
1月8日「若者よ 企業を目指せ」講堂で実施
山梨日立建機社長 雨宮清氏、サラダボウル社長 田中進氏、レアジョブ社長 加藤智久氏
- (6) 「フットパス around 県立大」
県大から1km以内の地域を取材し、紹介文とイラストを作成し、ガイドブックを出版。
会議:6月10日、6月22日、7月4日、12月20日
- (7) 大学広報誌「Souffle」編集部 スフル第2号発行のため、取材、編集を行う。
会議:8月10日、18日、10月25日、11月2日、15日、28日、12月5日、9日、14日、21日
- (8) キャンパスキャラクタープロジェクト「やまちゃん」の活用と全国組織の設立準備
会議:4月27日、5月25日、6月8日、23日、7月6日、20日、8月3日、10月12日、26日、11月9日、16日、30日、12月7日、14日、21日
出勤:5月8日池田自治会運動会、6月30日地域防犯ボランティア協議総会、9月21日甲府警察署交通安全週間イベント、10月8日やまなし映画祭PRイベント、10月11日甲府警察署生活安全課主催「防犯キャンペーン」、11月12日やまなし映画祭PRイベント、11月20日県民文化の日記念行事、11月23日朝日町商店街えびす講祭り、12月3日・4日B級グルメよっちゃばれ市
4. 理事、委員などの活動
- (1) 山梨県立大学「地域研究交流センター」センター長(10年4月～)
- (2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)
- (3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05年4月～)
- (4) 国際NGO「シャプラニール=市民による海外協力の会」評議員(05年4月～11年6月)
- (5) 「アースビジョン・地球環境映像祭」審査委員長(06年8月～10年3月)
- (6) 群馬県「ぐんまフィルムコミッション連絡会議」顧問(09年4月～)
- (7) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)
- (8) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員(08年1月～)
- (9) NPO 大学コンソーシアムやまなし 企画運営委員(10年4月～)
- (10) 山梨県広聴広報課CMコンペ審査委員(09年6月～)
- (11) やまなし映画祭実行委員会委員(08年7月～11年12月)
- (12) 山梨県「宝美アクティブプラン」検討委員会委員(09年6月～11年3月)

- (13) 忍野村・山梨県立大学「包括連携協定推進委員会」委員長（09年7月～）
- (14) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長（10年5月～）
- (15) 山梨県工業技術センター評議員（10年6月～）
- (16) 山梨県国民文化祭実行委員会企画委員（10年8月～）
- (17) 地域コンテンツ海外展開推進関東ブロック協議会第三者評価会議委員（7月～9月）
- (18) 「全映協グランプリ 2011」作品審査委員（7月～11月）
5. 講演・パネラーなどの活動
- 3月6日東京・四谷区民ホール「アースビジョン・地球環境映像祭」審査講評
- 5月19日「やまなしFC連絡協議会」総会コメンテーター
- 5月29日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター
- 6月18日大学 観光講座第2回講演「フィルムツーリズム」
- 7月9日甲府・岡島ロイヤル会館 富桜会記念講演「映画の楽しみ方 山梨と世界」
- 7月27日東京・一新塾「地域プロデューサー養成講座」講師
- 10月7日甲府南高校「プレゼンテーション」講師
- 11月6日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター
6. メディア出演など
- 2月21日 NHK 甲府「まるごと山梨」「お年寄りへの映画の効果調べる」
山梨放送「YBS ニュース」「映画鑑賞で脳の活性化」
テレビ山梨「ニュースの星」「青春映画の鑑賞で脳は活性化？」
- 3月11日 YBS ラジ オ「765MUX 週刊 MONO ジャーナル」「やまなし映画祭」
- 3月12日 YBS ラジ オ「甲府 Shiny Town あっこのイチオシ」「やまなし映画祭」
- 6月21日テレビ山梨「ニュースの星」「やまなし映画祭 被災地記録映画も上映へ」
- 7月25日 NHK 甲府「まるごと山梨」「故郷の今の姿を記録に」
- 8月24日インターネット放送「原麻里子のグローバルビレッジ」第17回「日本映画の国際化」
- 10月9日 NHK 甲府「ニュース」「震災映画制作の学生が中間報告」
- 10月15日 YBS ラジ オ「甲府 Shiny Town あっこのイチオシ」「やまなし映画祭」
- 11月24日 NHK 甲府「まるごと山梨」「被災した故郷の今を映画に」
- 12月17日インターネット放送「現代美術センター CCA 北九州 PLAYTIME TALK」
7. 調査研究など
- (1) 教育 GP「問題解決型サービス・ラーニングによる新公立大学モデル」
「実施ガイドライン」「評価シート」作成。
4月から、以下の4プロジェクトでSL評価開始。
「大学キャラクタープロジェクト」、「フットパス around 県大」、「やまなし映画祭」、「放送文化論実践」
- (2) 「映画鑑賞が高齢者に与える脳活性化の効果研究」（科研費 挑戦的萌芽研究）
2月21日 22日 甲府市内映画館「武蔵野シネマ5」で、第2、3回測定

山本武信

1. 新聞論説

共同通信社『にっぽん診断』全国60紙配信（北海道新聞、岩手日報、河北新報、福島民友、茨城新聞、埼玉新聞、上毛新聞、神奈川新聞、中部経済新聞、大阪日日新聞、高知新聞、徳島新聞、中国新聞、日本海新聞、山口新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞、南日本新聞、琉球新報、沖縄タイムズ等々に掲載）

- (1) 「ウィキリークスの功罪－透明性の追求に逆効果」2011年1月
- (2) 「出口が見えない新卒市場－グローバル競争で雇用縮小」2011年2月

- (3) 「原発神話崩壊のジレンマ－現代文明を見直す好機」2011年4月
- (4) 「危機が生む慈しみの心－復興を通じ人間の回復を」2011年5月
- (5) 「震災後に精神の復興を－思いやり薄れた日本」2011年6月
- (6) 「良寛に学ぶ震災後の経済－拡大志向から少欲知足へ」2011年7月
- (7) 「米一極支配20年目の真実－右往左往する日本の政権」2011年9月
- (8) 「市場原理思考から転換を－災いを転じて福となす道」2011年11月
- (9) 「古代ギリシャからの警鐘－EU危機へのもう一つの視点」2011年11月
- (10) 「ブータン現象に見る世相－GDPからGNHへの転換」2011年12月

2. 識者談話、講演その他

- (1) 取材協力：東洋経済新報社「チェルノブイリ原発事故と食品流通への影響」『週刊東洋経済』2011年7月
- (2) 2011年度大学入試問題への採用：「見直そう新聞の効用－アナログの力を再認識」(2010年11月岩手日報掲載)、世界思想社・教学社発行『2012-14年度大学入試シリーズ 岩手県立大学・盛岡短期大学部・宮古短期大学部』に掲載
- (3) 識者コメント：日本テレビ放送「高校生クイズ－ディオゲネス、オッカムの剃刀」2011年9月放送
- (4) 識者談話「ウィキリークス問題について」熊本日日新聞、2011年10月
- (5) 講演：「現代文明と震災・原発事故－大量消費・大量生産がもたらしたもの」平成23年度県民コミュニティカレッジ、2011年12月

吉川豊子

1. 口頭発表

2011年9月3日 日本文学協会近代部会 新フェミニズム批評の会
吉屋信子『暴風雨の薔薇』——大衆小説作家への道(その2)——

安藤淑子

1. 論文

- (1) 単著「ブラジル人学校と大学を結んだ遠隔日本語教育～初級学習者に対するブレンディッドラーニングの試み～」(2011年3月)『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第6号 山梨県立大学国際政策学部 pp.51-60.
- (2) 共著「韓国における在住外国人施策の現状と課題」(2011年3月)『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第6号 山梨県立大学国際政策学部 pp.105-118.

2. 学会発表

- (1) 単独「日本語教員養成課程におけるサービス・ラーニングのカリキュラム化に関する研究～Webによる活動ログ管理と指導の体系化に向けて～」(2011年10月)平成23年度日本語教育学会全国大会(秋季)

3. 報告書

- (1) 単著「多文化共生に関わる大学の地域貢献活動とカリキュラムとの統合に関する研究(継続)」『大学と地域の連携による多文化共生推進プロジェクト2』(2011年3月)平成22年度山梨県立大学地域研究交流センター研究プロジェクト(代表 安藤淑子)

4. 講演、その他

- (1) 文化庁委託平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業受託(2010年5月～2011年2月)企画・コーディネーター・講師
- (2) 「やまなし子ども学習支援連絡協議会」開催(2011年3月)企画・代表
- (3) 「外国人児童生徒への指導について～文部科学省「外国人児童生徒受け入れの手引」を中心に～」(2011年7月)H23年度中国人・ブラジル人児童生徒指導者研修会(2011年7月)講師

伊藤ゆかり

1. 論文

- (1) 単著(2011年3月)「ケネディ劇における

映画的手法」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第6号、pp. 61-70

高野美千代

1. 論文

(1) 単著 (2011年3月)

“Richard Chiswell and his Publications in the Late 17th Century” 山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第6号、74-84頁

2. 発表その他

- (1) 英米文化学会第29回大会 (2011年9月10日) 研究発表 [単独] 「書物史の要素から考察する *The History of St. Paul's Cathedral in London (1658)* の同時代的意義」

張 兵

1. 論文、報告書

- (1) 「2011年の日中関係：日本の若者の意見」『中国ビジネスヘッドライン』2011年1月28日
- (2) 「中国の西部大開発の成果と課題」国土交通省ホームページ 2011年2月24日
- (3) 「沿海から内陸へ：内陸部大都市の魅力」『中国ビジネスヘッドライン』2011年2月28日
- (4) 「山梨企業の中国進出の動向と課題」『山梨県立大学地域研究交流センター 2010年度研究報告書』2011年3月31日
- (5) 「外国人から見た山梨の魅力と課題」『山梨県立大学地域研究交流センター 2010年度研究報告書』2011年3月31日
- (6) 「中国改革開放の新動向と日本企業の対応」『アジアフォーラム 21 ANNUAL REPORT』2011年3月
- (7) 「東日本大震災：中国の製造業にも大きな打撃」『中国ビジネスヘッドライン』2011年4月6日
- (8) 「外国人から見た山梨の魅力—アンケート調査で浮かび上がる認知度」山梨総合研究所『地域から、未来が見える』Vol.13
- (9) 「中国地域開発政策の新動向」『中国ビジネスヘッドライン』2011年7月14日

(10) 「中国地域開発最前線 (1) 関中—天水経済区」『中国ビジネスヘッドライン』2011年10月19日

2. 学会・研究会発表

- (1) 「中国の西部大開発の成果と課題」国土交通省北海道開発局アジア・ロシア極東の地域開発に関する勉強会 2011年2月18日
- (2) 「山梨企業の中国進出の動向と課題」山梨県立大学地域研究交流センター報告会 2011年5月18日
- (3) 「外国人から見た山梨の魅力と課題」山梨県立大学地域研究交流センター報告会 2011年5月18日
- (4) 「中国における地域協調発展戦略の動向と課題」中国経済学会第10回全国大会 2011年6月18日
- (5) 「日系外食企業の中国進出の可能性と課題」第20回ニューパラダイム研究会 2011年8月27日
- #### 3. 社会貢献
- (1) 第8回やまなし留学生スピーチコンテスト審査員

戸田徹子

1. 論文

- (1) 単著 “Starting as a Women’s Organization: The Formation of the Women’s Foreign Missionary Association of Friends of Philadelphia” 『山梨国際研究』第6号 (2011年3月)、pp. 42-50
- (2) 単著 “Conflicting Views on Foreign Missions: The Mission Board of Philadelphia Yearly Meeting of Friends in the 1920s,” *Quaker History*, Vol. 100, No. 2 (Fall, 2011), pp. 17-35

名和敏光

1. 論文

- (1) 論文：「天水放馬灘秦簡『日書』乙種「行忌」考」『出土資料と漢字文化圏』汲古書店、2011年3月、科学研究費補助金による出版。

2. 学会発表、その他

- (1) 国際學會報告:「天水放馬灘秦簡:日書乙種:直室門考」甘肅簡牘學國際學術研討會、於中華人民共和國甘肅省蘭州市、2011年8月26日。
 - (2) 国際學會報告:「嶽麓秦簡《奏讞書》考釋」湖南大學嶽麓書院藏秦簡國際研讀會、於中國湖南省長沙市湖南大學嶽麓書院、2011年9月23～25日。
 - (3) 通譯&コメンテーター:陳松長「長沙馬王堆術數類帛書略説」京都大學人文科學研究所術數學研究班、於京都大學人文科學研究所、2011年12月3日。
 - (4) 學會発表:「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の資料的性格について」中國出土資料學會、於大正大學、2011年12月10日。
 - (5) 通譯&コメンテーター:陳松長「嶽麓書院秦簡概説—『占夢書』を中心に」京都大學人文科學研究所術數學研究班、於京都大學人文科學研究所、2012年1月7日。
 - (6) 国際學會報告:「關於馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇的資料特徵」於清華大學土文獻研究與保護中心大学院、2012年1月3日。
3. 国際學會參加・海外調査
 - (1) 上海調査旅行、中華人民共和國上海市復旦大學出土文獻與古文字研究中心、2011年3月17日～24日、科學研究費補助金による成果。→東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)のため中止。
 - (2) 国際學會招聘・北京調査旅行:「甘肅簡牘學國際學術研討會」於中華人民共和國甘肅省蘭州市・北京市、2011年8月24日～9月2日。
 - (3) 国際學會招聘:「湖南大學嶽麓書院藏秦簡國際研讀會」於中國湖南省長沙市湖南大學嶽麓書院、2011年9月23～25日。
 - (4) 国際學會招聘・北京調査旅行:「清華大學土文獻研究與保護中心大学院」於中華人民共和國北京市清華大學、2011年12月27日～2012年1月6日。
 4. 學會役員・その他
 - (1) 中國出土資料學會理事、2008年4月1日～現在。
 - (2) 日本中國學會第一回若手シンポジウム「中國學の新局面」實施委員會委員・論文查讀委員、2010年7月1日～2011年7月31日。
 - (3) 大東文化大學人文科學研究所兼任研究員、2005年4月1日～現在。
 - (4) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代文獻の成立に關する多角的研究」研究員、2009年4月1日～現在。<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 參照。
 - (5) 京都大學人文科學研究所術數學研究班「術數學—中國の科學と占術」研究員、2011年4月1日～現在。<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 參照。
 - (6) 研究分擔者:平成20年度科學研究費補助金(基盤研究(B))平成20～22年「新出土資料を通してみた古代東アジア世界の諸相—漢字文化圈の中の地域性—」(研究代表者:谷中信一 研究課題番号:20320009)、2008年4月1日～2011年3月31日。<http://kaken.nii.ac.jp/ja/p/20320009> 參照。
- 吉田 均**
1. 著作(計4件)
 - (1) 受賞
 - 1) 吉田均 2011年9月29日「インバウンド観光を活用した全道民参加型の国際交流を目指して」『国際交流に関する懸賞論文コンテスト』優秀賞。主催:公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター。
 - (2) 論文ほか
 - 1) 吉田均、2011、「観光分野における国際協力」、『自治体国際化協会』(2011年1月、255号)、財団法人自治体国際化協会。
 - 2) YOSHIDA Hitoshi, 2011, "A Study on the International Cooperation of Local Governments in Tourism", Yamanashi Glocal Studies 2011, No.6, Yamanashi Prefectural University.
 - (3) そのほか
 - 1) 吉田均ほか、2011、「個人観光客に対応したユニバーサルデザインによる着地型観

光ルートマップのモデル開発に関する研究]、『山梨県立大学地域研究交流センター2010年度研究報告書』、山梨県立大学地域研究交流センター

2. 発表・講演（計5件）

(1) 講演会など

- 1) 吉田均（2011年2月17日）、「領土問題から見る現代中国の現状と課題」、『損保ジャパン官公庁関係代理店会研修会』、損保ジャパン官公庁関係代理店会。
- 2) 吉田均ほか（2011年5月18日）、「UDによる着地型ルートマップ開発研究」、『山梨県立大学地域研究交流センター研究報告会』、山梨県立大学地域研究交流センター。
- 3) 吉田均（2011年9月28日）「世界の中の山梨」『夢を育む体験活動サポート事業「個性を育てる学習サポート」』、山梨県立韮崎高等学校。
- 4) 吉田均、（2011年8月14日）「地域での国際協力とJICA・推進員の役割」『JICA地球ひろば地域国際協力サポーターセミナー』、JICA地球ひろば地域連携課
- 5) 吉田均、（2011年12月16日）「姉妹交流を礎とした経済交流の試み」『平成23年度国際交流推進セミナー』、自治体国際化協会

3. 社会貢献（計4件）

(1) 公設委員会など

- 1) 「甲府市観光振興計画推進会議」委員（副会長）、甲府市、平成21年7月17日～平成23年7月16日。
- 2) 「四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業」山梨県委員会委員（委員長）、山梨県観光部国際交流課、平成22年7月29日～平成24年3月31日。
- 3) 「平成23年度富士北麓地域MICE研究会」（会長）、山梨県企画課、平成23年度。

(2) 民間団体委員会、アドバイザーほか

- 1) 国際協力機構（JICA）山梨県地域国際協力サポーター、独立行政法人国際協力機構広尾センター、平成23年4月1日～平成24年3月31日

王 若江

【論文】

1. 《关于汉语国际教育硕士专业学位培养方案的思考》，《国际汉语教育人才培养论丛》第二辑，2011年1月，北京：北京大学出版社。
2. 《演讲任务教学方法分析——以汉语桥比赛俄罗斯选手为例》，《俄罗斯孔子学院院刊》2011年5月。

【學會発表、その他】

1. 国际学术会议“国际汉语新形势下汉语教师培训论坛”发表论文《关于汉语教师国别化培训的思考》，中国北京市 2011年8月12-14日

【學會役員・その他】

1. 中国世界汉语教学学会会员，1993年～現在。
2. 世界汉语教育史学会理事，2001年～現在。